

第4回日本環境教育学会東北支部大会
東北地区環境教育研究・活動発表会
研究・活動発表プログラム

日程：2021年3月7日（日）9：45～16：40（オンライン開催）

- 9：30 会場（入室開始）
- 9：45-10：00 開会セレモニー（挨拶・説明）
＜セッション1＞
- 10：00-10：15 ○工藤優之・金澤伸浩（秋田県立大学）
コロナ禍で考える殺菌・消毒リテラシー
- 10：15-10：30 ○溝田浩二・佐藤みちる（宮城教育大学）
新型コロナウイルス感染症は保育現場にどんな影響を与えたのか
—宮城教育大学附属幼稚園におけるアンケート調査から—
- 10：30-10：45 ○比屋根哲（岩手大学）
コロナ禍における博士課程科目「科学コミュニケーション」
（オンライン）の実践
- 10：45-10：55 （休憩・時間調整）
＜セッション2＞
- 10：55-11：10 ○泉桂子・外館聖八郎・浜津ミサノ（岩手県立大学ほか）
いわて森林インストラクター会の活動紹介
- 11：10-11：25 ○八幡直輝（岩手大学）
森林体験活動で取り扱うべき内容の整理
- 11：25-11：40 ○鎌田洋平（NPO法人はちろうプロジェクト）
秋田県八郎湖における若者向け環境学習の取組み
- 11：40-11：50 （休憩・時間調整）
- 11：50-13：00 （昼食休憩）日本環境教育学会東北支部総会 12：20-12：50
- ＜セッション3＞
- 13：00-13：15 ○小山献冬・蒔田明史（秋田県立大学）
幼児の園活動での自然体験の実態 —秋田県全園のアンケートから—
- 13：15-13：30 ○近藤祐一郎（東北工業大学）
未就学児を対象とした地域環境教育の教材開発に向けた試行
- 13：30-13：45 ○西城 潔・三井雅視（宮城教育大学）
小学校での七夕学習への竹の利用とその効果

- 13：45-14：00 ○齊藤千映美・田中ちひろ（宮城教育大学）
教員養成大学と動物園の連携による環境教育の可能性と課題
- 14：00-14：10 （休憩・時間調整）
- <セッション4>
- 14：10-14：25 ○千葉咲楽・小倉巧也・辻口貴清・長南幸安（弘前大学）
距離の逆二乗則を導入するリカレント放射線教育教材の開発と原子力災害被災地における実践
- 14：25-14：40 ○小倉巧也・千葉 咲楽・辻口 貴清・長南 幸安（弘前大学）
原子力災害被災地における児童生徒及び社会人から高齢者を対象とした放射線教育実践
- 14：40-14：50 （休憩・時間調整）
- <セッション5>
- 14：50-15：05 小野里実華・○後藤忍（福島大学）
福島第一原子力発電所事故に関する映像作品の特徴分析
- 15：05-15：20 ○河原光希・後藤忍（福島大学）
中学生・高校生を対象とした放射線教育の教材における遺伝子レベルの影響に関する記述内容分析
- 15：20-15：35 ○佐藤周平・後藤忍（福島大学）
福島県における東日本大震災と福島第一原子力発電所事故に関する伝承施設の現状と課題
- 15：35-15：45 （休憩・時間調整）
- <セッション6>
- 15：45-16：00 ○安藤立星（秋田県立大学）
天然植物と人工植物が与える心理的影響
- 16：00-16：15 ○長南幸安・久野蛍人（弘前大学）
気体の温室効果実験の再検証
- 16：15-16：30 ○杉江瞬・田代拓・磯部章・長南幸安（弘前大学）
メタンハイドレート合成実験を取り入れた環境教育実践
- 16：30-16：40 （時間調整）
- 16：40 閉会

*発表者・タイトル等は、当日までに一部変更する場合があります。

※東北地区環境教育研究・活動発表会の視聴を希望される方は、2月28日（日曜日）までに、Eメールで氏名、所属を下記までご連絡ください。

視聴希望の連絡をいただいたアドレスに、発表会当日の招待メールを届けます。

連絡先：比屋根哲（アドレス hiyane@iwate-u.ac.jp） ◎を@に変えて送信。